

LECTURE 講演会報告

大 学



人間情報学部と北京大学信息管理学部との交流協定に基づき、平成25年度の人間情報学部講演会が開催され、約250人の学生が参加しました。

中国では21世紀に飛躍的に進展したインターネットや情報技術の利用が、生活、教育、文化、経済などに大きな影響を与え、中国社会を大きく変えつつあります。李教授は、インターネットは中国国民にとって情報を得る大切なツールであり世論を反映する重要なメディアであること、インターネットによる電子商取引が急速な発展を遂げて若い起業者を育てていること、またネット時代に出現した作家たちの想像力や自由な精神が文学界を活性化していることなど、さまざまな現状を紹介されました。

最後に、インターネットの普及が不正を糾弾し、正義を問う声として中国社会に大きな影響を与えているが、ネット犯罪やプライバシー保護などの深刻な社会問題に対する法律の改正を課題として示されました。

- 第2回人間情報学部講演会「中国におけるインターネットの利用に関する考察」
- 北京大学信息管理学部教授 李常慶氏
- 11/25 長久手キャンパス



今年度、開設4年目を迎えた交流文化学部は、第1期の卒業生を送り出します。そこで、4年間の学びの集大成を形として表すために研究大会を開催しました。

第1部では「産業界の求める人材・学生像について」を演題に経団連社会広報部長の井上洋氏による基調講演を行い、第2部では卒論を書き終えたばかりの4年生を中心に研究発表を実施しました。研究発表は35(発表者38人)を7会場に分け、来場者は自分の興味・関心のある発表を求めて会場間を移動しました。研究発表には本学部生だけでなく、大学院生や教員に從事する卒業生も参加し、「研究大会」の名に相応しいものとなりました。

閉会後は、教員、発表者、運営をサポートした学生スタッフが懇親会を開き、発表に至るまでの苦労話や、研究の内容などを語り合いました。

第1部、第2部を通して約500人の参加があり、第1回研究大会としては成功の内に幕を閉じることができました。

- 交流文化学会 第1回研究大会 [第1部]基調講演
- 一般社団法人 日本経済団体連合会 井上洋氏
- [第2部]研究発表
- 12/14 星が丘キャンパス



押山美知子先生は少女マンガに登場する男装の少女の描かれ方をジェンダー観の観点から研究されてきました。今年度は『少女マンガジェンダー表象論』の増補版を上梓されています。今回のセミナーでは、女性身体と男装の関係についてお話しいただきました。

押山先生は前半で手塚治虫作品にみられる女性身体と男性身体の描かれ方の違いを説明されました。例えば『ロストワールド』で、女性身体は男性から見られる「性的な身体」として従属的な存在として表象されるのに対し、男性身体は女性を導く能動的な存在として描かれます。

手塚とは異なり、団塊世代の少女マンガ家たちは男装キャラクターの女性身体を「性的な身体」として受け入れることが難しかったとも述べられました。萩尾望都の『雪の子』には男の子として強い自己肯定感をもつため女性身体に成長する自分を否定してしまふ男装キャラクターが登場します。この傾向は2000年代以降も続いているようで、例えば水城せとな『放課後保健室』に見られるように、「性的な身体」としての女性身体を男性身体として描く流れさえ出てきているとも指摘されました。

- ジェンダー・女性学研究所主催 第28回定例セミナー 『少女マンガの男装キャラクターにみる女性身体と男装の関係性』
- 専修大学非常勤講師 押山美知子氏
- 11/27 長久手キャンパス及び星が丘キャンパス



丹羽先生は、医療現場で女性特有の悩み相談をお受けになるだけでなく、保健所や学校での講演などにも積極的に取り組んでいらっしゃいます。今回のPTA講演会では「知っておきたい!子どもの性と自分の体」をテーマに、会場に集まった121人のお母様に語りかけました。丹羽先生がまず指摘されたのは、子宮頸がんなどには自覚症状がないこと。手遅れになるまで放置してしまわないよう、定期的な検診の必要性を強調されました。また、十代の女性が避妊の知識不足であることにも言及。妊娠は女性の人生にとって大きな出来事であり、慎重に対応するべきだと警鐘を鳴らされました。さらに、更年期障害とアンチエイジングに関しては、「更年期障害は誰にも起こりうることであり、ストレスをためず、健康やかな食生活に心がけることが大切」などのアドバイスが語られました。こうした有益な情報に満ち、参加者の皆様の健康に関する知識を深める貴重な機会となりました。

講演会報告

中学校・高等学校

- 高等学校・中学校PTA講演会「知っておきたい!子どもの性と自分の体」
- 咲江レディースクリニック院長 丹羽咲江氏
- 11/14 センテナリーホール

